

# 義務教育学校で期待されるメリット



## 学力向上 個性伸長

- 小学生の段階から、より高い専門性をもつ教員と学習することで、学力や個性の伸長が期待されます。
- 独自の教科の設定や指導する時期（学年）や指導時数を柔軟にできる「特例」もあります。



## 中1ギャップの 不安解消

- 子どもたちが、教育環境や指導方法などに大きな変化を感じることなく、系統性や連続性を重視した教育実践が展開され、教育効果が向上します。

## 異学年交流で 社会性育成

- 異学年交流により、思いやりの心や憧れの気持ちの醸成など、精神的な発達や社会性の育成が期待されます。

## 全教職員での サポート体制

- 小中段階のより多くの教員が情報を共有して関わることにより、より効果的に学校生活をサポートすることができます。



## 義務教育学校のデメリットをQ&Aにしてみました(^)/

Q. 小学校卒業や中学校入学の節目がなく  
達成感や新鮮さが不足するのでは  
ありませんか？

A. 節目ごとにふさわしい行事を行うなど、  
マンネリ化を防止します。



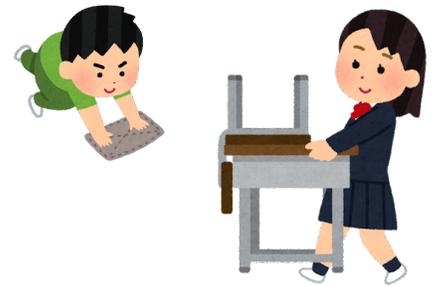
Q. 人間関係が9年間固定化する閉塞感があり  
人間関係を広げたり、リセットしたりする  
ことが困難ではありませんか？

A. 異学年交流やオンラインでの他校交流、  
地域の大人との交流等、人間関係の多様性を  
創出します。



Q. 小学校高学年のリーダーシップや自主性の  
喪失につながりませんか？

A. 学年の区切りを意識したリーダーの育成や、  
下学年の企画による行事運営等を  
工夫します。



Q. 休み時間など低学年生が萎縮、  
高学年生の言動が低学年生に悪影響を  
及ぼす可能性はありませんか？

A. 一緒に遊んだりすることにより、高学年生が  
優しくなり、面倒見が良くなる好事例が  
多数報告されています。

